

住家被害認定調査等へのデジタル技術導入に係る研究会(第1回)議事要旨

【開催日】 令和4年10月14日(金) ※オンライン・対面併用開催

【議 題】

- (1) 会長及び副会長選任
- (2) 令和3年度の事業報告及び令和4年度 of 取組
- (3) 今後の研究会開催スケジュール案について

【議事概要】

(1) 会長、副会長の選任について

- 昨年度に引き続き、会長：田中委員、副会長：水町委員で了承

(2) 令和3年度の事業報告及び令和4年度の取組

◆主な発言：

- 昨年度は、デジタル技術を活用した住家被害認定調査業務支援ツールのプロトタイプを構築した。
- 今年度は、AI技術による損傷程度判定の精度向上を主眼とし、令和4年度版のプロトタイプの構築を行う予定である。
- 技術的に非常に高度なものを構築する必要があると認識しているが、課題や現状について議論を行いながら、デジタル技術をどのように活用し、業務を効率化できるのか、期待したいところである。
- 今年度の精度向上に当たっては、昨年度の検証を踏まえ、具体的な課題の特定と改善策との対応関係を明確にして進めるべきである。
- 面積率の算出や、調査完了後のデータ整理・管理についても、区市町村のニーズや研究会の意見を踏まえ、検討を進めていく。
- 住家被害認定調査の事務フローと本支援ツールとの関係性を整理し、具体的な支援内容や迅速化する対象業務についての認識を共有した上で議論を行っていきたい。

(3) 今後の研究会開催スケジュール案について

- 年4回の開催を予定している。
- 昨年度と同様に、第4回はプロトタイプの実証実験を実施予定である。
- 次回もオンライン・対面併用会議で開催を考えている。

以上